リリースノート

バージョン 3.1.2.0 – 2014/12/01 公開

※ wivia は、株式会社内田洋行の日本における登録商標です。
※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。
※ Apple、Mac、Mac OS は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ その他システム名、プログラム名などは、一般に各社の登録商標です。

■ 概要

wivia 3.1.2.0 では、wivia ファームウェアのパスワードの仕様変更および設定項目の追加と、ファームウェア、Windows 用および Mac 用 wivia ソフトウェアの不具合の修正を実施しました。これら不具合の修正により、ファームウェアおよびソフトウェアの安定性が向上しています。特にファームウェアでは、バージョン 3.1.0.0 以降で発生が確認されている投影画面の停止に関する不具合を修正しています。wivia 3.0.0.0 以降をご利用のすべての方に対し、本バージョンアップの適用を推奨します。

■ 以前の wivia との互換性について

wivia 3.1.2.0 で提供されるファームウェアは、wivia ファームウェアのバージョン 3.0.0.0 以上の wivia 本体へ適用できます。

wivia 3.1.2.0 で提供される Windows 用および Mac 用ソフトウェアは、ファームウェアのバージョン 2.0.0.0 以上の wivia 本体に対して利用が可能です。ただし、wivia 3.0.0.0 より搭載された機能の一部については、wivia 本体のバージョンが 3.0.0.0 以上でないと使用できないものがあります。

■ ファームウェアアップデート適用上の注意

wivia 3.0.0.0 から wivia 3.1.2.0 へアップデートすると、以前に設定されていた背景が初期画面に戻ります。（その他の設定項目は引き継がれます。）wivia 3.1.2.0 のアップデート適用後に、wivia 管理画面にて再度背景の設定を実施してください。なお、wivia 3.0.1.0 以降からのアップデートでは、以前に設定されていた背景が引き継がれます。

本バージョンのファームウェアにより、管理者、およびカンファレンスコントロールユーザーのパスワードの文字数が変更されます。アップグレード以前のパスワードは保存され、アップグレード後も引き継がれます。

本バージョン以降で管理者、およびカンファレンスコントロールユーザーのパスワードを変更し、その後 3.1.1.0 以前のバージョンへダウングレードした場合は、3.1.1.0 以前で設定されたパスワードを入力いただく必要があります。ダウングレード後に以前のパスワードを紛失されている場合は、wivia 本体背面にあるリセットスイッチにて設定の初期化を行ってください。リセットスイッチによる初期化の方法、初期化後の管理者およびカンファレンスコントロールユーザーのパスワードについては、wivia サポート Web サイトにある『wivia 取扱説明書』をご参照ください。

ファームウェアアップデート中は wivia 本体の電源を絶対に切らないでください。ファームウェアの更新に失敗し、以降、該当の wivia が使用できなくなります。

■ 動作要件

wivia 3.1.2.0 の対応オペレーティングシステムは以下のとおりです。

- Windows 用 wivia ソフトウェア
  - Windows 8 / 8.1
  - Windows 7 Service Pack 1
  - Windows Vista Service Pack 2
- Mac 用 wivia ソフトウェア
  - OS X 10.10.1
  - OS X 10.9.5
  - OS X 10.8.5
  - OS X 10.7.5

■ 機能の追加、変更、および削除

［本体ファームウェア］

1. パスワードの文字数の変更
   管理者、およびカンファレンスコントロールユーザーのパスワードの入力文字数を最大 8 文字から 32 文字に変更しました。

2. 操作パネル表示設定の追加
   wivia 本体でペン機能等を利用する際に使用する操作パネルを、表示しないようにする設定を追加しました。初期値は「表示する」（これまでどおりの動作）です。操作パネルを「表示しない」設定にした場合、wivia 本体側のポインティングデバイス機能は常にマウスとして動作します。

3. 本体の電源 ON/OFF をシステムログ（Syslog）に記録するようにしました。

4. 無線の設定のチャンネルを「Auto」に設定しているときに、14 チャンネルが選択されないようにしました。

■ 不具合の修正および品質の改善

［本体ファームウェア］

1. 無線 LAN クライアント機能で使用される MAC アドレスが誤って表示される問題を修正しました。

2. 画面投影を 2 時間以上続けた場合に、画面投影が強制的に終了される問題を修正しました。この問題は、wivia ファームウェア 3.1.0.0 以降のバージョンで発生が確認されていました。

［Windows 用 wivia ソフトウェア］

1. wivia ソフトウェア起動時に画面解像度を変更し、その後投影の設定のディスプレイ表示を拡張に変更すると、wivia ソフトウェアを終了しても画面解像度が戻らなくなる問題を修正しました。

2. wivia ソフトウェアの操作画面が最小化されている状態で、画面投影中に PC – wivia 間のネットワーク接続を切断すると、wivia ソフトウェアが動作停止する問題を修正しました。

3. 画面名が 16 文字である wivia が、操作画面のリストに正しく表示されないことがある問題を修正しました。

［Mac 用 wivia ソフトウェア］

1. 検索の設定で多数の IP アドレスが登録されている場合に、wivia リストの更新に時間がかかる問題を修正しました。

2. 設定のインポート機能で設定ファイルをインポートした場合に、ソフトウェアの再起動が強制される問題を修正しました。

■ 制限事項

1. 本リリースノートに記載しているものより過去のバージョンの wivia ファームウェアは、本リリースの Windows 用 wivia ソフトウェアと一定の互換性はありますが、すべての機能および性能の互換性を保証するものではありません。本リリースノート記載のバージョンの wivia ファームウェアをご利用ください。

2. Windows 用 wivia ソフトウェアの画面投影モードの変更には、wivia ソフトウェアの再起動が必要です。設定変更後に再起動を促すメッセージが表示されますが、ここでキャンセルすると wivia ソフトウェアは再起動されず、投影モードの設定変更は適用されません。設定の変更は wivia ソフトウェアの再起動後に正しく適用されます。

3. セキュリティソフトウェアなどにより、USB メモリーへのアクセスがブロックされることがあります。この場合、USB メモリーから wivia ソフトウェアを利用することはできません。セキュリティソフトウェアのセキュリティレベルを低く設定するか、システム管理者にお問い合わせください。

4. 一部のポップアップ画像などは wivia 本体に正しく投影されないことがあります。この場合、投影の設定で DirectX 投影モードに設定することで投影できる場合があります。

5. 一部の CAD ソフトウェアのような OpenGL を多用するソフトウェアや、DirectX を多用するソフトウェアと wivia の画面投影機能との併用ができないことがあります。Windows 用 wivia ソフトウェアの場合は、投影の設定で DirectX 投影モードに設定することで投影できる場合があります。

6. Windows XP SP2, SP3 および Windows Vista SP0, 1 で Windows 用 wivia ソフトウェアをご利用頂く場合、IP アドレスを直接指定して同時に発見できる wivia 本体は 10 台までに制限されます。上記 Windows にてご利用いただき、かつ IP アドレスを直接指定して 10 台を超える wivia を同時に発見する必要がある場合は、弊社または販売代理店までお問い合わせください。

7. 一部のシンクライアント環境では wivia を正しく動作させることができず、シンクライアント環境に深刻な影響を与える場合があります。シンクライアント環境にて wivia をご利用頂く場合は、弊社または販売代理店ま

でお問い合わせください。

8. カンファレンスコントロールでは PC、Mac からの画面投影や動画再生の開始をブロックします。一時停止等、投影中の画面や動画の操作は引き続き画面投影及び動画再生元の PC、Mac からの操作が可能です。

9. 本製品は 24 時間 365 日の連続動作を保証しておりません。wivia の使用終了後は本体の電源をお切りください。

■ 既知の問題

1. Windows ファイアウォールやセキュリティソフトウェアの設定により、動画の再生に失敗することがあります。この場合、各ソフトウェアや機能の設定を変更いただくことで、問題を回避することができます。

2. Windows XP の管理者権限を持たない標準ユーザーで使用する場合において、あらかじめ画面のプロパティで wivia 拡張ディスプレイを利用しない設定にしていると、wivia ソフトウェアで拡張ディスプレイの表示が行われません。wivia 拡張ディスプレイを有効にした後、再度ご利用ください。

3. wivia ソフトウェアを実行中に OS を再起動すると、wivia ソフトウェアが変更した PC の設定が元に戻らないことがあります。この場合、手動で設定を変更してください。wivia ソフトウェアは、起動時に以下の設定を変更します。（ご利用の設定や環境によっては、変更されないことがあります。）
    1. 画面解像度
    2. 電源オプション（Windows のみ）
    3. Windows Aero の無効化（Windows Vista/7 のみ）
    4. ハードウェアアクセラレータの設定（Windows XP のみ）

4. wivia ソフトウェアの投影設定を変えながら画面投影を繰り返していると、wivia Snaps が利用できなくなることがあります。wivia 本体および wivia ソフトウェアを再起動すると、問題が修正されます。

5. その他、wivia 本体や wivia ソフトウェアが動作を停止する等の問題が発生した場合は、wivia 本体の再起動（本体の電源スイッチを OFF し、再度 ON）や wivia ソフトウェアの再起動を行なってください。

■ 関連する資料

wivia 本体、および wivia ソフトウェアの詳細な使い方については、『wivia 取扱説明書』をご覧ください。これらは wivia サポート Web サイトから入手いただけます。